

## 中間のまとめからの変更箇所①

※審議会から意見やパブリックコメントをもとに修正

No.	ページ	箇所	修正後	修正前 (R5. 5. 24中間のまとめ)	※
1	4	3. 基本理念 (わたしたちの望み) 【3、4段落目】 ※資料4参照	一方、わたしたちの西東京市を取り巻く社会経済情勢はめまぐるしく変わりつつあります。将来にわたり市民が満足できる西東京市を創り上げるために <u>行政をはじめ</u> 、市民、市民活動団体、事業者等のさまざまな主体がともに課題に向き合い、変化や危機に対して柔軟に対応していくことが求められています。  そのため、わたしたち一人ひとりが <u>身近なことからまちづくりに関わることで、「自分ごと」として西東京市の未来を見つめ</u> 、責任を持って次世代へとつないでいきたいと思います。	一方、わたしたちの西東京市を取り巻く社会経済情勢はめまぐるしく変わりつつあります。将来にわたり市民が満足できる西東京市を創り上げるために、市民、市民活動団体、事業者や行政等のさまざまな主体がともに課題に向き合い、変化や危機に対して柔軟に対応していくことが求められています。  そのため、わたしたち一人ひとりが、西東京市の未来を「自分ごと」として捉え、 <u>主体的にまちづくりに関わり</u> 、責任を持って次世代へとつないでいく必要があると考えています。	※
2	11	【基本施策1】 一人ひとりがいきいきと輝くまちを実現するために 【2段落目】	また、市民へ積極的に情報提供するなど、 <u>自治体や町内会等への加入促進を図り</u> 、地域コミュニティの活性化に取り組みます。	また、市民へ積極的に情報提供するなど加入促進を図り、地域コミュニティの活性化に取り組みます。	
3	17	【基本施策9】 暮らしの中で身近にみどりを感じるために 【1段落目】	民間活力やボランティア等のさまざまな主体と協働し、公園の維持管理や地域にあわせた特徴のある公園づくり、 <u>農地や屋敷林の保全・活用等により</u> 、身近にみどりを感じられるまちづくりに取り組みます。	民間活力やボランティア等のさまざまな主体と協働し、公園の維持管理や地域にあわせた特徴のある公園づくり、 <u>農地保全・活用等により</u> 、身近にみどりを感じられるまちづくりに取り組みます。	※
4	19	【基本施策12】 安全で安心して暮らすために 【1段落目】	雨水溢水対策や耐震化等を推進するとともに、 <u>市民、行政等のさまざまな主体が</u> 日頃から防災意識を高めつつ、(以下略)	雨水溢水対策や耐震化等を推進するとともに、 <u>それぞれが</u> 日頃から防災意識を高めつつ、(以下略)	
5	41	5. 今後のまちづくりに関する意見	本計画の策定にあたり、「市民意識調査」、「中学生まちづくりアンケート」を実施し、 <u>若い世代を含め、市民の</u> 考えや意見を把握しました。また、「 <u>西東京市のミライを語るシンポジウム</u> 」、「市民ワークショップ」、「子どもワークショップ」、「企業・団体ヒアリング」などの市民参加による(以下略)	本計画の策定にあたり、「市民意識調査」、「中学生まちづくりアンケート」を実施し、 <u>市民や若い世代の</u> 考えや意見を把握しました。また、「 <u>まちづくりシンポジウム</u> 」、「市民ワークショップ」、「子どもワークショップ」、「企業・団体ヒアリング」などの市民参加による(以下略)	

No.	ページ	箇所	修正後	修正前 (R5. 5. 24中間のまとめ)	※
6	48	6. 計画を推進するための考え方 ■ エリア（圏域）における取組の推進（学校を核としたまちづくり）	<p>少子高齢化の進展や急激な社会経済情勢の変化及びライフスタイル・価値観の多様化などに伴い、地域を取り巻く状況は変化しており、地域の担い手の不足や高齢化、コミュニティの固定化・希薄化、にぎわいの喪失、地域課題の多様化・複雑化など、さまざまな課題が生じています。</p> <p>（中略）</p> <p>一方で、多様化・複雑化する地域課題に対しては、行政が重層的に支援をすることに加えて、行政と地域が連携し、地域の課題を地域で解決できる仕組みづくりを推進する<u>必要があります</u>。</p> <p><u>そのためには</u>、有事が起きてからではなく、日頃から地域において住民同士が<u>支え合える関係を作り（顔の見える関係づくり）</u>、だれもが地域とのつながりの中で、希望に<u>応じた</u>居場所と役割があり、一人ひとりが活躍できるまちづくりを進めていくことが<u>必要です</u>。特に、新たな担い手世代（「子育て・働き盛り」の現役世代）や若者世代が<u>地域に対して積極的に関わりを持ってもらうことが重要</u>です。</p>	<p>少子高齢化の進展や急激な社会状況の変化及びライフスタイル・価値観の多様化などに伴い、地域を取り巻く状況は変化しており、地域の担い手の不足や高齢化、コミュニティの希薄化やにぎわいの喪失、地域課題の多様化・複雑化など、さまざまな課題が生じています。</p> <p>（中略）</p> <p>一方で、多様化・複雑化する地域課題に対しては、行政が重層的に支援をすることに加えて、行政と地域が連携し、地域の課題を地域で解決できる仕組みづくりを推進することが<u>重要</u>です。その際は、有事が起きてからではなく、日頃から地域において住民同士が<u>支援し合える関係づくり（顔の見える関係づくり）</u>が重要であり、だれもが地域とのつながりの中で、希望に<u>応じて</u>居場所と役割があり、一人ひとりが活躍できるまちづくりを進めていくことが<u>必要</u>となります。</p> <p>「顔の見える関係づくり」は、「日頃の関係性」から生まれるものであり、日頃から住民同士が関わる「<u>きっかけ</u>」が<u>重要</u>です。特に、新たな担い手世代（「子育て・働き盛り」の現役世代）や若者世代が<u>どのように地域と関わりを持てるかが重要</u>です。</p>	
7		6. 計画を推進するための考え方 ■ エリア（圏域）における取組の推進（学校を核としたまちづくり）	<p>本市では、「学校が地域のキーステーション」であるとの認識のもと、学校を核としたまちづくりが進められており、学校には<u>多様な世代や属性の人が集う「きっかけ」</u>があります。こうした視点を踏まえ、歩いて行ける距離や公共施設の配置バランス等を考慮し、中学校を中心とした半径1,200m程度の範囲を「中学校区」としてエリア（圏域）に位置づけ、<u>中学校区</u>を基本としたまちづくりを進めていきます。</p> <p><u>学校を核としたまちづくり</u>にあたっては、年齢や属性等を問わない身近な相談窓口の設置による「相談機能の強化」、コミュニティの形成・活性化のための「コーディネート機能の充実」、多様な世代や属性の人が集い、交流するための「年齢を問わない居場所の確保」、生きがいやつながりづくりのための「社会参加の機会創出」、心と体のための「健康づくり（運動）の推進」といった行政サービス機能について、中学校区で展開していきます。</p> <p>そのため、<u>学校施設を中心として</u>、相談窓口の設置やコーディネーターの配置、（以下略）</p>	<p>本市では、「学校が地域のキーステーション」であるとの認識のもと、学校を核としたまちづくりが進められており、学校には<u>多世代の住民</u>が集う「きっかけ」があります。こうした視点を踏まえ、歩いて行ける距離や公共施設の配置バランス等を考慮し、中学校を中心とした半径1,200m程度の範囲を「中学校区」としてエリア（圏域）に位置づけ、<u>9つの中学校区</u>を基本とした地域づくりを進めていきます。</p> <p><u>地域づくり</u>にあたっては、年齢や属性等を問わない身近な相談窓口の設置による「相談機能の強化」、コミュニティの形成・活性化のための「コーディネート機能の充実」、多様な世代や属性の人が集い、交流するための「年齢を問わない居場所の確保」、生きがいやつながりづくりのための「社会参加の機会創出」、心と体のための「健康づくり（運動）の推進」といった行政サービス機能について、中学校区で展開していきます。</p> <p>そのため、相談窓口の設置やコーディネーターの配置、（以下略）</p>	
8	56	施策1-1 【現状と課題】 ■ 2つ目を追加	<p>■本市では、「西東京市地域コミュニティ基本方針」に基づき進めている「<u>地域協力ネットワーク</u>」について、令和4年度に北東部地域を<u>設立</u>しました。</p>		
9	57	施策1-1 【目標の実現に向けた取組内容】 ② ボランティア・市民活動の推進	<p>（中略）また、地域の活動に次世代を担う子どもも<u>や若者</u>の参加機会を設け、ボランティア・市民活動を推進します。</p>	<p>（中略）また、地域の活動に次世代を担う子どもの参加機会を設け、ボランティア・市民活動を推進します。</p>	
10	62	施策2-1 【現状と課題】 ■ 2つ目を追加	<p>■本市では、子ども、高齢者、障害のある人、女性、外国人、性的マイノリティなど、<u>すべての人の人権が守られ、住みやすい社会であるために、人権に関する普及啓発事業などを行ってきました。</u></p>		

No.	ページ	箇所	修正後	修正前 (R5. 5. 24中間のまとめ)	※
11	62	施策2-1 【現状と課題】 ■ 6つ目を追加	■本市では、毎年4月12日の「西東京市平和の日」に関連したイベント等を通して、市民の平和意識を高めるための取組を進めてきました。		
12	64	施策2-2 【現状と課題】 ■ 2つ目を追加	■本市では、「やさしい日本語」や多言語による情報提供や、地域での交流の担い手となるボランティアを増やす取組を進めてきました。		
13	66	施策2-3 【現状と課題】 ■ 2つ目を追加	■本市では、男女平等推進センター「パリテ」を中心に、男女の固定的性別役割意識の解消に向けた情報発信や講座の実施などの取組を進めてきました。		
14	70	施策3-1 【現状と課題】 1つ目	■本市では、市の情報発信力を強化するため、市ホームページのリニューアルを適宜実施するとともにSNS等のさまざまな広報媒体など活用し、各媒体の特性を活かした情報発信を推進しています。	■本市では、市の情報発信力を強化するため、市ホームページのリニューアルや新たな広報媒体としてのSNSの導入などの取組を進めています。	
15	70	施策3-1 【現状と課題】 ■ 2つ目を追加	■多様な媒体を通じて、必要な情報を届けられるよう努めている一方で、市からの情報が届かない、わかりづらいとの声があり、市内外への地域の魅力の発信など、情報発信については課題があります。		
16	70	施策3-1 【現状と課題】 ■ 4つ目を追加	■多様化・複雑化する市民の相談ニーズに対応するため、専門相談員の配置等、相談体制の充実を図るとともに、関係機関と連携しながらさまざまな相談への対応やトラブルの未然防止に取り組むことが必要です。		
17	73	施策3-2 【目標の実現に向けた取組内容】	② 分野横断的に連携できる組織づくり及び人材の確保と育成 多様化・複雑化する行政課題に対応できる人材の確保と、職員の計画的な育成を進めます。また、職員が能力を発揮できる職場環境の整備や、分野横断的に連携できる組織づくりにも取り組みます。	② 行政課題に対応できる人材の確保と育成 多様化・複雑化する行政課題に対応できる人材の確保と、職員の計画的な育成を進めます。また、職員が能力を発揮できる職場環境と組織づくりの整備にも取り組みます。	
18	78	施策4-1 【現状と課題】 ■ 2つ目を追加	■国では、「こども家庭庁」が創設され、常に子どもの最善の利益を第一に考え、子どもの視点で、子どもを取り巻くあらゆる環境を視野に入れ、子どもの権利を保障し、子どもをだれ一人取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押しすることとしています。		
19	78	施策4-1 【現状と課題】 ■ 4つ目	■本市では、今と未来を生きるすべての子どもが健やかに育つ環境を整えるため、市全体で子どもの育ちを支えていくことを目的に、「西東京市子ども条例」を制定し、子どもの人権に関する普及啓発や、子どもの居場所の充実等に取り組んできました。	■本市では、今と未来を生きるすべての子どもが健やかに育つ環境を整えるため、市全体で子どもの育ちを支えていくことを目的に、「西東京市子ども条例」を制定しています。	
20	79	施策4-1 【目標の実現に向けた取組内容】 ① 子どもの権利が守られる社会の構築	子どもの人権侵害の防止に努めます。また、子どもの支援を担う機関が、一人ひとりの子どもにとっての最善の利益を見立て、それを実現するための専門性を強化し、権利を侵害された子どもの権利回復を含めた支援体制の充実を図ります。	子どもの人権侵害の防止に努めます。また、学校、関係機関、地域などとの連携を強め、深刻な事態の発生を未然に防止するための取組を進めます。	※
21	79	施策4-1 【目標の実現に向けた取組内容】 ② 子どもの自立支援や社会参加の推進	子どもが、自立した個人として、等しく健やかに成長することのできる社会の実現に向け、子どもの年齢及び発達段階やライフステージに応じた切れ目のない支援を行うとともに、その意見を尊重し、自己に直接関係するすべての事項に関して意見を表明する機会や多様な社会的活動に参画する機会の確保に努めます。(以下略)	子どもが、自立した個人として、等しく健やかに成長することのできる社会の実現に向け、子どもの年齢及び発達の程度に応じ、その意見を尊重し、自己に直接関係するすべての事項に関して意見を表明する機会や多様な社会的活動に参画する機会の確保に努めます。(以下略)	
22	80	施策4-2 【現状と課題】 ■ 1つ目	■国による「こども家庭庁」の創設に伴い、すべての妊産婦、子育て世帯、子どもへ、一体的な相談支援を行う体制の充実が求められています。	■国では、常に子どもの最善の利益を第一に考え、子どもの視点で、子どもを取り巻くあらゆる環境を視野に入れ、子どもの権利を保障し、子どもをだれ一人取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押しするために、「こども家庭庁」を創設しました。	

No.	ページ	箇所	修正後	修正前 (R5.5.24中間のまとめ)	※
23		施策4-2	施策4-1 【目標の実現に向けた取組内容】 「① 子どもの権利が守られる社会の構築」に整理	① 子どもの最善の利益の実現 子どもの支援を担う機関が、一人ひとりの子どもにとっての最善の利益を見立て、それを実現するための専門性を強化し、支援体制の充実を図ります。	
24	81	施策4-2 【目標の実現に向けた取組内容】	① 悩みを抱える子どもが相談できる環境の充実 いじめや虐待など、人には言いにくい悩みを抱える子どもが、自身自身で相談できる環境の充実 <del>に努めます。</del> また、 <u>学校、関係機関、地域などとの連携を強め、深刻な事態の発生を未然に防止するための取組を進めます。</u>	③ 悩みを抱える子どもが相談できる体制の充実 いじめや虐待など、人には言いにくい悩みを抱える子どもが、自身自身で相談できる体制づくりに努めます。また、そうした状態にある子どもを早期に発見できるよう、相談体制の充実を図ります。	
25	81	施策4-2 【目標の実現に向けた取組内容】 取組内容整理	② 児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応及び支援の充実 <u>児童虐待の発生予防・早期発見、児童虐待発生時の迅速・的確な対応、虐待を受けた子ども等への支援に関する取組を進めます。</u>		
26	84	施策5-1 【現状と課題】 ■ 2つ目を追加	■本市では、子育て世代包括支援センターの開設や子ども総合相談システムの導入などによる関係機関との連携強化に取り組んできました。		
27	85	施策5-1 【目標の実現に向けた取組内容】 ① 子育て家庭の状況に応じた伴走型支援体制の構築	<u>乳幼児健康診査等を通じて子どもの発育・発達を確認し、健やかな子どもの育ちを支援するとともに、予期せぬ妊娠、妊娠・出産への不安、出産間もない時期の休息ニーズ並びに経験不足やサポート不足による不安等、支援の必要性の高い妊産婦とご家庭に対し、必要な支援機関へつなぐことにより、孤立を防ぎ、虐待等の重篤事案の防止を図ります。</u> <u>また、子育てと仕事をひとりで担い、負担や悩みを抱える子育て家庭への支援に取り組みます。</u>	<u>産後ケアやレスパイトケア等をはじめとする、休息を必要とする子育て家庭や、予期せぬ妊娠等、支援の必要性の高い妊産婦に対して、必要な支援機関へつなぐ体制を構築することにより、孤立を防ぎ、虐待等の重篤事案の防止を図ります。</u>	
28	85	施策5-1 【目標の実現に向けた取組内容】 ② 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援	<u>安心して妊娠し、出産・子育てができるよう、妊娠・出産・子育て中の家庭、困り感を抱える家庭や保護者に対して、寄り添った継続的な支援を行います。また、妊娠・出産や離乳食などについて学ぶ機会を通じて子育てにおける不安・悩みの軽減を図るとともに、育児手技等や子どもの発育・発達についての知識が不十分なまま子育て期を迎えることのないよう、身近な地域で教育や支援を受けられる機会の充実を図ります。</u> <u>妊娠後期から産後数カ月間の育児スタート期や就学前において、妊産婦や保護者が身近な場で互いにつながりを持てる機会づくりに取り組めます。</u>	<u>妊娠・出産・子育てに不安や心配を抱える家庭や保護者に対して、必要な情報提供を行うとともに、妊娠期から子育て期にわたる包括的かつ継続的な支援を行います。また、身近な地域で育児や子どもの発育・発達についての知識の取得や支援を受けられ、楽しみながら子育てができるよう、保護者同士がつながりを持てる機会の充実を図ります。</u>	
29	90	施策6-1 【現状と課題】 ■ 2つ目を追加	■本市では、一人ひとりを大切にする教育を推進するために、小・中学校全校での特別支援教室の導入、特別支援学級の増設、医療的ケア児への支援などの取組を行ってきました。		
30	90	施策6-1 【現状と課題】 ■ 5つ目を追加	■学校施設については、改修等を計画的に進めるとともに、体育館の空調を整備するなど、子どもたちにとってよりよい学校環境づくりに取り組んでいます。		
31	91	施策6-1 【目標の実現に向けた取組内容】 ④ 学校教育環境の向上	市立小・中学校の施設の多くが順次更新時期を迎えるため、今後も計画的な建替や改修などの対応を進めます。また、 <u>児童・生徒数の将来推計等を勘案</u> しながら適正規模・適正配置の検討を踏まえた取組を進めます。	市立小・中学校の施設の多くが順次更新時期を迎えるため、今後も計画的な建替や改修などの対応を進めます。また、 <u>将来人口等を勘案</u> しながら適正規模・適正配置の検討を踏まえた取組を進めます。	

No.	ページ	箇所	修正後	修正前 (R5. 5. 24中間のまとめ)	※
32	96	施策7-1 【現状と課題】 ■ 3つ目を追加	■本市では、これまで取り組んできた「ほっとするまちネットワークシステム」や「ふれまち助け合い活動」に加え、「福祉丸ごと相談窓口」を開設し、関係機関との連携による相談支援を行える体制を整えてきました。		
33	99	施策7-2 【目標の実現に向けた取組内容】 ② 介護予防の推進	② <u>介護予防の推進</u> 市民や事業者に対して介護予防の普及啓発を図るとともに、地域包括支援センターや生活支援コーディネーターをはじめ、さまざまな専門職等の連携・協力体制を強化し、効果的な介護予防の取組を推進します。	② 介護予防の推進と介護サービスの充実 市民や事業者に対して介護予防の普及啓発を図るとともに、地域包括支援センターや生活支援コーディネーターをはじめ、さまざまな専門職等の連携・協力体制を強化し、効果的な介護予防の取組を推進します。また、要介護・要支援となった高齢者の自立支援・重度化防止に資する質の高いサービスを受けられる体制づくりに取り組みます。	
34	99	施策7-2 ②からの整理	④ <u>介護人材の確保・育成・定着対策</u> 介護人材の不足は、介護サービスの供給を制約する要因となることから、介護人材の確保・育成・定着の取組を一層普及させるために必要な方策を推進します。		
35	100	施策7-3 【現状と課題】 ■ 2つ目を追加	■本市では、グループホームや地域活動支援センター「ブルーム」、放課後等デイサービスの充実とあわせて、障害や障害のある人に対する理解を深めるための普及啓発活動を進めてきました。		
36	100	施策7-3 【現状と課題】 ■ 4つ目	■発達障害者や高次脳機能障害者、難病患者、医療的ケア児など、支援を必要とする人の状態が多岐に渡っていることから、(以下略)	■発達障害者や高次脳機能障害者、難病患者、医療的ケア児など、支援を必要とする人の態様が多様化していることから、(以下略)	
37	102	施策7-4 【現状と課題】 ■ 2つ目を追加	■本市では、生活困窮者自立支援制度の充実や、ひきこもり・ニート対策を推進してきました。		
38	106	施策8-1 【現状と課題】 ■ 2つ目を追加	■本市では、「健康」応援都市の実現を目指して、ひととまちの健康づくりを推進してきました。また、「歩く」ことを中心に日常の中の健康づくりを支援する「健康増進ポイントアプリあるこ」をスタートし、市民一人ひとりが主体的に取り組む健康づくりを支援しています。		
39	107	施策8-1 【目標の実現に向けた取組内容】 ⑤ 心の健康づくりの支援	<u>精神保健上の問題だけではなく、健康問題、過労、生活困窮、家庭問題など、個人の問題と捉えるのではなく、支援につながることで解決できる場合もあるとの認識に立って「生きる支援」の推進を図ります。特に、個人や地域において、つながりを持ち、「生きることの阻害要因」を減らす取組と「生きることの促進要因」を増やす取組の双方をあわせて進めます。</u>	健康問題、過労、生活困窮、家庭問題など、個人の問題と捉えるのではなく、支援につながることで解決できる場合もあるとの認識に立って「生きる支援」の推進を図ります。特に、個人や地域において、「生きることの促進要因」を増やす取組と、「生きることの阻害要因」を減らす取組の双方をあわせて進めます。	※
40	108	施策8-2 【現状と課題】 ■ 1つ目を追加	■本市では、シルバー人材センター等との連携や、介護支援ボランティアポイント制度により、高齢者の就労・社会参加の支援に取り組んできました。また、高齢者大学などによる高齢者の生きがいつくりにも取り組んでいます。		
41	110	施策8-3 【現状と課題】 ■ 2つ目を追加	■本市では、障害のある人が、それぞれの知識・スキルを活かした就労を実現できるよう、就労支援体制の強化や就労定着支援などに取り組んできました。		
42	110	施策8-3 【現状と課題】 ■ 3つ目	■より多くの方が希望する就労環境で働くことができるよう、障害者就労支援センター「一歩」を拠点とし、障害者雇用に取り組む意欲ある民間企業と連携し、障害特性を考慮した、多様な働き方、多様な勤務形態の雇用の確保に努めることが必要です。	■障害のある人が、それぞれの知識・スキルを活かした就労を実現できるよう、障害者就労支援センター「一歩」を拠点とし、障害者雇用に取り組む意欲ある民間企業と連携し、能力を考慮した、多様な働き方、多様な勤務形態の雇用の確保に努めることが必要です。	※

No.	ページ	箇所	修正後	修正前 (R5.5.24中間のまとめ)	※
43	111	施策8-3 【目標の実現に向けた取組内容】	① <u>障害の特性</u> に応じた多様な社会参加の促進	① <u>障害のある人の特性</u> に応じた多様な社会参加の促進	※
44	114	施策9-1 【施策目標】	公園・緑地や農地、 <u>屋敷林</u> などの暮らしに身近なみどりを保全、活用するまちをめざします。	公園・緑地や農地、 <u>雑木林</u> などの暮らしに身近なみどりを保全、活用するまちをめざします。	※
45	114	施策9-1 【現状と課題】 ■ 1つ目	■ 市内には公園や農地、 <u>屋敷林</u> のみどりが存在していますが、 <u>宅地化</u> とともにみどりが減少する傾向にあります。(以下略)	■ 市内には <u>公園や農地</u> のみどりが存在していますが、 <u>都市化</u> とともにみどりが減少する傾向にあります。(以下略)	※
46	114	施策9-1 【現状と課題】 ■ 2つ目を追加	■ <u>本市では、農地の保全に努めるとともに、地域の方々に親しまれている下保谷四丁目特別緑地保全地区を定期的に一般開放するなど、市民が屋敷林に触れる機会の充実に取り組んできました。</u>		
47	116	施策9-2 【現状と課題】 ■ 2つ目	■ <u>近年では令和2年に、泉小わくわく公園を新設しましたが、近隣他市と比べると一人当たりの公園面積が少なく、配置の地域格差も課題となっています。</u> (以下略)	■ <u>本市は、近隣他市と比べると一人当たりの公園面積が少なく、配置の地域格差も課題となっています。</u> (以下略)	
48	117	施策9-2 【目標の実現に向けた取組内容】 ③ みどりのネットワークの形成	<u>道路、公共施設などの身近な場所での緑化を進め、市内に点在する公園・緑地、農地などをつなげ、みどりのネットワークの形成に取り組みます。また、風土や歴史など地域の成り立ちを踏まえた特徴あるみどり等の質の高いみどりについては、積極的に保全し、活用を図ります。</u>	<u>市内に点在するみどりをつなげ、みどりのネットワークを形成することで、みどりの質の向上を図ります。また、既存の質の高いみどりについては、積極的に保全し、活用を図ります。</u>	※
49	122	施策10-2 【現状と課題】 ■ 1つ目を追加	■ <u>本市では、資源物の収集方法を拠点回収から戸別回収に変更するなど、ごみの分別推進や減量化の促進を進めてきました。また、民間事業者との連携によるリユース・リサイクルの推進に取り組んできました。</u>		
50	128	施策11-1 【現状と課題】 ■ 1つ目を追加	■ <u>本市では、都市計画道路の整備状況や大規模な土地利用転換等の際に、周辺の住環境と調和のとれたまちなみとなるよう、「地区計画制度」などを活用し、規制誘導を行っています。</u>		
51	132	施策11-3 【現状と課題】 ■ 1つ目を追加	■ <u>本市では、公共交通空白地域・不便地域の改善の改善に向け、民間路線バスの誘致とともに、コミュニティバス「はなバス」を運行しています。また、自転車及安全・快適に通行できる環境づくりに向けて、自転車の走行空間の整備や自転車ナビマークの設置を進めています。</u>		
52	136	施策12-1 【現状と課題】 ■ 2つ目を追加	■ <u>本市では、防災訓練や防災講話、学校避難所運営協議会の活動などを通して公助とともに、地域における自助・共助の意識醸成や防災行政無線等による緊急情報の提供体制の確保に努めてきました。</u>		
53	138	施策12-2 【現状と課題】 ■ 2つ目を追加	■ <u>本市では、防犯パトロールや防犯活動団体との連携による見守り活動など、防犯体制の強化に向けた取組を進めてきました。また、警察や関係機関と連携し、特殊詐欺の撲滅に向けた取組や自転車利用に関する啓発活動などを実施しています。</u>		
54	142	施策13-1 【現状と課題】 ■ 2つ目を追加	■ <u>本市では、農業者と市民が相互理解を深められるよう、農業体験や交流機会の創出に取り組んできました。また、「めぐみちゃんメニュー」などを通じ、市内農産物の活用拡大に努めています。</u>		
55	142	施策13-1 【現状と課題】 ■ 4つ目を追加	■ <u>商工業については、市内ものづくり事業者等の優れた商品や技術をPRし、新たなビジネスマッチングの機会を創出するために「西東京市匠navi」を発行するとともに、新たにSNSを活用した情報発信を行っています。</u>		

No.	ページ	箇所	修正後	修正前 (R5. 5. 24中間のまとめ)	※
56	143	施策13-1 【目標の実現に向けた取組内容】 ② 都市農業の魅力向上と理解促進	直売所の情報提供や西東京市農産物キャラクター「めぐみちゃん」の活用等により、 <u>地産地消を促進するとともに、市民が市内産農産物の魅力に触れる機会を充実します。</u> （以下略）	直売所の情報提供や西東京市農産物キャラクター「めぐみちゃん」の活用等により、市民が市内産農産物の魅力に触れる機会を充実します。（以下略）	※
57	148	施策14-1 【現状と課題】 ■ 2つ目を追加	■本市では、 <u>市公式LINEや駅前情報発信拠点など、多様な媒体を活用した情報発信の取組を進めてきました。また、アニメスタンプラリーやみどりの散策マップを活用したまち歩きなど、イベントを通して市内外への魅力発信に努めています。</u>		
58	152	施策15-1 【現状と課題】 ■ 2つ目を追加	■本市では、 <u>専門職員（学芸員、司書）や地域で活動している個人・団体が、市内の小中学校に出向いて授業を行う「まちなか先生」や、市民が地域課題の解決をめざし、互いに交流しながら学びあう「地域づくり未来大学」など、さまざまな学びや交流の機会を充実させるための取組を進めてきました。</u>		
59	154	施策15-2 【現状と課題】 ■ 2つ目を追加	■本市では、 <u>だれもが身近でスポーツできるよう、総合型地域スポーツクラブを通じた活動場所の確保やスポーツ推進委員を活用した運動機会の提供に取り組むとともに、スポーツ施設の改修を計画的に進めています。</u>		
60	154	施策15-2 【現状と課題】 ■ 4つ目	■市民それぞれのスポーツ実践を支える環境づくりに向け、学校施設の <u>地域利用</u> 、企業・民間スポーツ施設や大学施設の利用促進・連携の検討、更には近隣自治体との相互利用を含め、スポーツができる機会を確保していくことが必要です。あわせて、スポーツ施設の老朽化に伴う計画的な改修が課題となっています。	■市民それぞれのスポーツ実践を支える環境づくりに向け、学校施設の開放、企業・民間スポーツ施設や大学施設の利用促進・連携の検討、更には近隣自治体との相互利用を含め、スポーツができる機会を確保していくことが必要です。あわせて、スポーツ施設の老朽化に伴う計画的な改修が課題となっています。	
61	156	施策15-3 【現状と課題】 ■ 2つ目を追加	■本市では、 <u>より多くの市民が多彩な文化芸術に触れられるよう、保谷こもれびホールなどを活用した鑑賞機会や情報の充実にも努めてきました。また、下野谷遺跡を保存・活用するために整備を進めています。</u>		